

平成30年10月15日

保護者・地域の皆様

横浜市立岸谷小学校
校長 大島 宏二

岸谷小学校における全国学力・学習状況調査の結果分析及び課題、改善の手立てについて ～平成30年度全国学力・学習状況調査結果より～

- ◆成果 算数の基礎的な知識の定着と活用する力の向上
- ◆課題 国語の基礎的な知識の定着と理科の活用する力の向上

義務教育の機会均等とその水準維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育活動にいかすことを目的とし、全国学力・学習状況調査が行われています。その結果から本校の学習状況と今後の取組についてお知らせいたします。

1 調査結果

	本校 正答率 (%)	横浜市 (公立) 正答率 (%)	全国 (公立) 正答率 (%)
国語 (A) (主として知識)	69	70	70.7
国語 (B) (主として活用)	54	54	54.7
算数 (A) (主として知識)	65	64	63.5
算数 (B) (主として活用)	53	52	51.5
理科 (主として活用)	59	60	60.3

2 調査結果の分析

平均正答率について、算数 (A) (B) ともに横浜市、全国より上回っています。国語 (A) と理科は横浜市、全国よりやや下回っています。

	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
国語	<ul style="list-style-type: none">文の中における主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書く。計画的に話し合うために、司会の役割について捉える。目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして書く。	<ul style="list-style-type: none">相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す。目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。目的に応じて、文の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく。
算数	<ul style="list-style-type: none">1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる。示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる。メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる。	<ul style="list-style-type: none">1にあたる大きさを求める問題では、除数が少数である場合でも除法を用いることを理解している。180度の角の大きさを理解している。折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け、根拠を明確にして記述できる。

理科	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる。 ・より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その結果を記述できる。 ・ろ過の適切な操作方法を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。 ・実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できる。 ・物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適応できる。
学習意識等	<p>○多くの児童が算数の学習について肯定的なとらえ方をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。』 当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した児童 88.2% ・『算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。』 当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した児童 87.6% <p>○一方で、学習習慣や地域・社会への意識の低さについて課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『学校の授業時間以外に、普段（月曜から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。』 1時間より少ないと回答した児童 50.4% ・『地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができますか。』 どちらかといえば当てはまらない・当てはまらぬと回答した児童 50% 	

3 今後の取組

<学力向上アクションプランの継続>

◇主体的、対話的で深い学びの実現

◇学習の習慣化

◇主体的、対話的で深い学びを実現する授業

○主体的な学びを支える基礎的・基本的な知識・技能の定着

- ・音読、漢字、計算練習の継続
- ・各学年の段階に応じた話型の掲示
- ・ノートのまとめ方指導

○主体的、対話的な学習・教科で大切にしたい見方、考え方を深める学習

- ・主体的に問題を見出し、協働的に解決していく中で、解決方法を話し合ったり振り返ったりすることを通し、教科で大切にしたい見方や考え方を深める学習

◇学習の習慣化を図る取組

○朝のスキル・読書タイム

- ・週3日朝の時間にスキルと読書の時間を設定

○岸谷スタディールーム・算数指導

- ・少人数でのグループ指導・少人数習熟度別での指導体制

○家庭学習

- ・学年の段階に応じた家庭学習（プリント、ドリル等）の継続